

1. 健康産業フォーラム

第1回健康産業フォーラム

- 1 期日 5月14日(火) 13時30分～15時30分
- 2 会場 松本勤労者福祉センター 第1会議室
- 3 内容

第1部 「ヘルスケア産業の創出に向けて」

経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 係長 井上 健士 氏

第2部 平成24年度経済産業省委託事業「官民連携による医療・介護周辺サービス創出調査」報告
(財)長野経済研究所 調査部長代理兼首席研究員 中村 雅展 氏

第2回健康産業フォーラム

- 1 期日 9月24日(火) 15時30分～17時00分
- 2 会場 松本市役所 東庁舎3階 議員協議会室
- 3 内容

「コナミスポーツが取り組む健康サービス」

(株)コナミスポーツ&ライフ プロデューサー 森谷 路子 氏



第3回健康産業フォーラム

- 1 期日 2月6日(火) 14時00分～16時00分
- 2 会場 音楽文化ホール 小ホール
- 3 内容

「安心して健やかに老いることが出来る社会を目指して」

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 理事長・院長 相澤 孝夫 氏 氏

2. 市民ニーズ調査事業

介護保険適用外の生活支援サービス

介護保険のサービスではまかないきれない課題を調査しました。こうした課題のニーズを顕微鏡する新たなサービスが実現されます。

移動に関するサービス

〇誰かと外出がしたい
昔の車は運転できるものが多かったが、今は運転が年々難しくなっています。しかし、「誰かと一緒に外出したい」という強い思いが起ります。

- 困っていること
近所での移動車と通達が困難
お金のシステムがわからない
(現金、銀行口座等)
- あったらいいサービス
公営車で移動サービスを利用した
介護者
近所見学会を地域とした
外出ツアー



〇買い物口がほしい
買い物は移動が困難で、買い物口はほしいと大層です。「買い物したい」「洋服に買い物をしたい」といった要望を伺っています。

- 困っていること
近所での移動が困難、近所での移動も困難
洋服に買い物をしたい
- あったらいいサービス
近所などを車や移動車等が定期的に通ってほしいと要望

購買に取組める栄養剤・栄養補助食品

同じ栄養素は必要摂取量が多く低価格が欲しいとされています。売場に取組める栄養剤が求められています。

- 困っていること
必要量が多すぎて飲みきれない
半割ペースのものが多いためアレルギーが
ある
薬味など食品が買えないときに栄養補助食品
がほしい
- あったらいいサービス
必要量が少なくても安心食品
必要量の少ないアレルギーの人に対応する
多様な食品
処方箋がなくても医師で購入できる食品



〇日本の家事（活用）

専業主婦などの日常の業務は、介護保険制度では対応できません。活用促進の活用を促されますが、お金がかかることや時間がかかりすぎるなどの課題が起ります。

- 困っていること
専業主婦に家事のお金をかかるといえない
家事ができる人、できれば早く色々と
頼みたい
- あったらいいサービス
近所の人がリースアップの形で
ちよっと手助けをしていくサービス
活用したいので、日本の家事も手
助けてくれる事業



介護予防に役立つサービス

介護予防のために重要なこととして取り組まれます。

- 〇認知症の予防
- 〇健康増進活動
- 〇身体機能維持のための定期的な運動



〇認知症予防のニーズは強い

介護予防に強いとされている認知症予防は、多くの人から求められています。認知症予防は、認知症予防に強いとされています。

〇積極的な社会参加が必要

ADLやQOLの向上には外出や社会参加が重要ですが、高齢者にとっては外出や社会参加が難しいとされています。外出や社会参加が難しいとされています。外出や社会参加が難しいとされています。



事業化には学術機関・行政等との連携が重要

介護保険、介護報酬、介護 方法等について検討するため、学術機関・行政等との連携が重要とされています。学術機関・行政等との連携が重要とされています。

医師・看護師等と参加企業とのマッチングを行う「現場ニーズ研究会」は、個別企業等との対応で実施しました。

3. 実用化検証・実証実験事業等

(1) 松本信用金庫

(2) 株式会社デリカ

(1) 金融商品による検診受診率向上や健康意識高揚に係る実証実験 (松本信用金庫)

これまでの経緯

- 25.2 松本市と企業連携協定調印式を実施。
- 25.5 協定を活かした、健康に寄与する金融商品開発のため、松本地域健康産業推進協議会分科会で検討(計7回)
- 25.9 発売開始
- 25.11 第3回世界健康首都会議に出展
- 25.12 健康情報誌 第1号発行
- 26.1 契約者アンケート実施

健診受診確認用パスポート(契約時に配布)



「健康寿命延伸定期積金」ご契約者パスポート



特典(特典をご利用になる時は、本パスポートを提示ください。)

- ・ラーラ松本の施設無料使用
- ・松本信用金庫(松本市との共催も含む)が開催する講演会等へ優先ご招待
- ・証明印が3つお揃いの方は、抽選にて贈答品をプレゼントします。

※証明印が3つお揃いの方は、28年5月末までに松本信用金庫各支店にご提出ください。



※証明印が付かれている期限まで下記特典をご利用いただけます。

※健康診断を受診したことが分かる書類を松本信用金庫の各支店にご提示ください証明印を押印します。

住所
お名前



実証実験の内容

○事業費:879,000円(広告宣伝費、ラーラ利用助成、モニター調査費等)

○実施内容

(1) 商品の概要

- ア 商品名「健康寿命延伸 特別金利定期積金」
- イ 利率 0.2%(通常0.03%)
- ウ 発売期間 平成25年9月～
- エ 契約期間 3年間
- オ 販売エリア 松本信金 全28店舗(松本市、安曇野市、塩尻市 他)

(2) 預金者へのインセンティブ

- ア 年度ごと(通算3回)に、健康診断の受診を確認後、ラーラ松本プールの利用券を発行
- イ 3年連続受診した預金者に、ディズニーリゾート利用券等の懸賞を用意

(3) 預金者へ情報提供

- ア 信金行員(一部郵送)から、自治体が行う健康診断の日程等の情報を、預金者の状況に応じて送付し、受診を促進する

(4) 検証項目

- ア 申込時点での検診の認知度や受診意向と、情報提供後の認知度、受診の有無
- イ ラーラ松本利用券の使用状況
- ウ 金融商品としての顧客満足度

実施実績

- ・ 契約者数 : 1,437人
- ・ 契約額 : 約10億円
(平成26年2月末現在)

(2) 電動アシスト四輪自転車の効果等に係る実証実験 (株デリカ、松本大学)

これまでの経緯

- 25.2.7 「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト記念イベントでの製品モニタリングを実施
- 3.29 デリカ、松本市意見交換
- 4.11 製品の効果検証に向けた分科会を開催(デリカ、松本市、松本大学、工業支援センタ)以降分科会を計3回開催(6/11 6/13 7/25)
- 7.10 実証実験実施申請(申請者:株デリカ)
- 11 実証実験(@松大グランド)開始
- 8.7 実証実験に係る連携協定を締結(デリカ、松大、松本市)
- 9.2 カーフリーデーin松本に参加し、展示・試乗
- 11.1 製品・発売
- 11.25.26世界健康首都会議に出展
- 26.2.6 県健康・医療製品化事例研究会で発表

実証実験の内容

○事業費:805,000円

(機械装置費:5万円、調査委託費50万円、広告宣伝費20万円、他)

○検証項目

(1) 効果検証

- ア 電動アシスト四輪自転車の効果、効用に関する試験・調査を松本大学が実施
- イ 歩行と電動アシスト自転車を利用した際の消費エネルギーの比較研究
 - (ア) 高齢者、大学生、各10名程度をモニタとして、歩行時と自転車利用時の消費エネルギーを比較し、同じ量のエネルギー消費でどれだけ活動範囲が広がるかを検証する
 - (イ) 実証期間:平成25年7月11日～同9月30日

測定結果

歩行に比べけんきゃくん使用走行は速度では約1.5倍速く、消費エネルギー量は約1.8倍であることなどから、継続して使用することによる健康増進の可能性あり。また、仮に今回と同等の被験者が20分間それぞれの運動を実施した場合、総エネルギー量は、歩行が約90kcalであるのに対し、けんきゃくん使用走行では約160kcalになることが推測される。

(2) モニタリング(アンケート分析)

- ア 購入者リストにより、購入後の活動範囲や健康状態の変化等をヒアリング調査し、活動範囲が広がることが健康状態や生活スタイルにどのような影響を与えるかを検証
- イ 実証期間:平成25年8月1日～平成26年2月28日

アンケート結果

発売が11月にずれ込んだことや大雪等の影響で十分な結果が得られなかったこともあり、次年度も引き続きフォローを行うもの

電動アシスト四輪自転車「けんきゃくん」

サイズ

全長:1,350mm 全幅:520mm 車軸間距離:1000mm
重量 22kg

補助速度範囲 0～15km

走行距離 平坦路 約30km



4. 企業連携事業

「健康寿命延伸都市・松本」プロジェクト (株)ローソン

これまでの経緯

- 25. 7. 11 ローソンが、福祉ひろば事業等の視察及び意見・情報交換のため来松
- 8. 9 ローソンが、今後、本市と連携し取り組むことを提案
- 9. 25 市内にローソンとの分科会を設置し、具体的な協議に着手(計5回開催)
- 11. 18 ローソンと「松本市民の健康づくりに関する協定」を締結
- 26 第3回世界健康首都会議においてローソンが取組みを報告
- 26. 3. 14 まちかど健康相談のプレ実施

平成26年3月15日 市民タイムス



駐車場に設けられたテントに立ち寄り検査を受ける市民

買い物ついでに健康相談

市と協定 ローソンがコーナー

松本市が、コンビニエンスストアを展開するローソン(本社・東京)と協定し、市内各店舗に「まちかど健康相談」コーナーを設けた。このコーナーは、市民の健康意識を高め、生活習慣病の予防や早期発見を促すことを目的としている。また、市内各店舗に「まちかど健康相談」コーナーを設けたことにより、市民の健康意識が高まり、生活習慣病の予防や早期発見を促すことが期待されている。

15日(土)午前10時から午後5時までの間、市民の健康意識を高めるため、市内各店舗に「まちかど健康相談」コーナーを設けた。このコーナーは、市民の健康意識を高め、生活習慣病の予防や早期発見を促すことを目的としている。

15日(土)午前10時から午後5時までの間、市民の健康意識を高めるため、市内各店舗に「まちかど健康相談」コーナーを設けた。このコーナーは、市民の健康意識を高め、生活習慣病の予防や早期発見を促すことを目的としている。

協定の概要

(1) 内容

- ア 健康診断に誘(いざな)う「松本モデル」の実施(受診率向上対策)
 - 3月に、ローソン店舗敷地内において「まちかど健康相談」を2回実施
- イ 健康寿命延伸に関する情報等の掲出
 - 市内のローソン全19店舗に、本市専用の健康に関する情報スペースを常設
- ウ その他、市民の健康づくりに必要な取組みの実施

まちかど健康相談

- (1) 実施日時
 - 3月14日(金)・15日(土) 各10:00~15:00
- (2) 実施店舗
 - ローソン松本石芝店
- (3) 内容
 - 血圧測定、体組成検査、健康相談、健(検)診受診勧奨、スモーカーライザー、アルコールパッチテスト、脂肪モデル展示

実施実績

参加者数 14日(金)---90人 15日(土)---122人
 参加者の受診状況
 特定健診 --- 50% (受診者の8割は60歳以上の高齢者)
 ・胃がん検診--- 27% ・肺がん検診--- 31%
 ・子宮がん検診--- 28% ・乳がん検診--- 29%

過去の市イベントを分析すると参加者のうち、約2割の人が健康に対して意識変容が生じたものと推察されており、今回のイベントで少なくとも20人の特定健診未受診者に何らかの形で意識(行動)変容が生じるものと考えられる

(株)ルネサンス

「熟年体育大学」特別講座

○熟年体育大学(総合体育館コース)特別講座での指導・実演

熟年体育大学OB約300人が参加する特別講座において、ストレッチやバランスコーディネーションなど、年齢や体力に応じた種々のプログラムを紹介、体験してもらう。

ユニ・チャーム(株)

「正しい尿ケア専用品の使い方」

○地区福祉ひろばで、尿失禁の現状と対策の講習会を継続

軽度の尿失禁は加齢とともに誰にでも起こり得ることを説明し、生理用品での代用などではなく、専用品を使って安心して外出することを呼びかける

